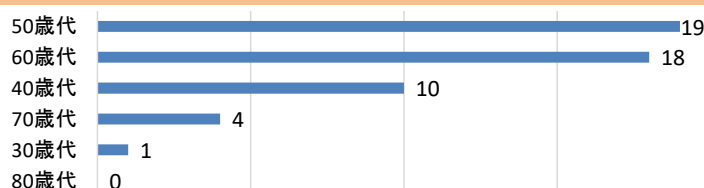


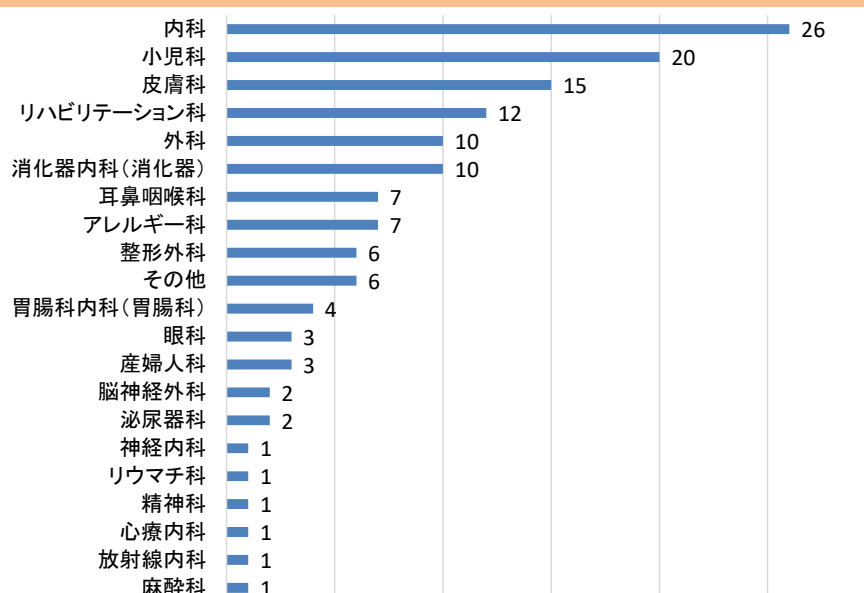
「在宅医療・介護連携に関する調査票」アンケート調査結果 病院・診療所 医師

◆調査実施期間	平成30年11月1日～11月30日
◆調査対象施設	日進市内の病院・診療所
◆調査対象医師	63人(うち回答52人)

あなたの年齢をお選びください



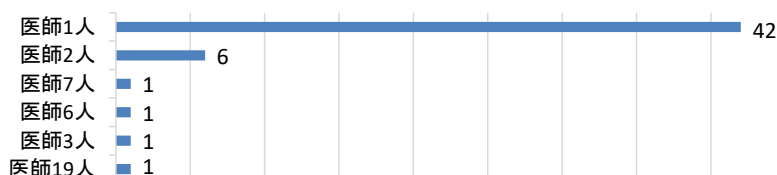
貴院の標榜科目についてお尋ねします。(複数回答可)



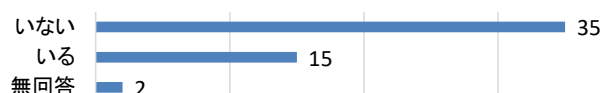
現在、診療所に関わる職員の人数(医師のみ)、常勤・非常勤スタッフの有無をお書きください。

【医師(院長を含む)】

◆常勤の人数

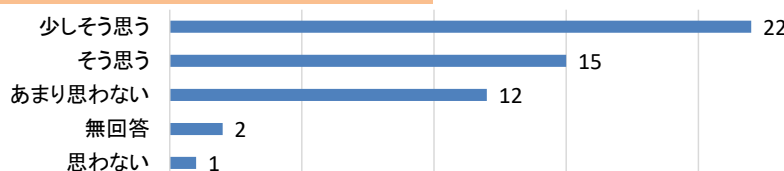


◆定期的に診療する非常勤医の有無

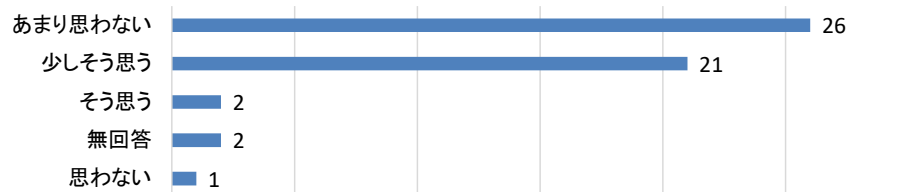


在宅医療に対する一般的なイメージを、以下の該当するところの口に✓でチェックしてください。

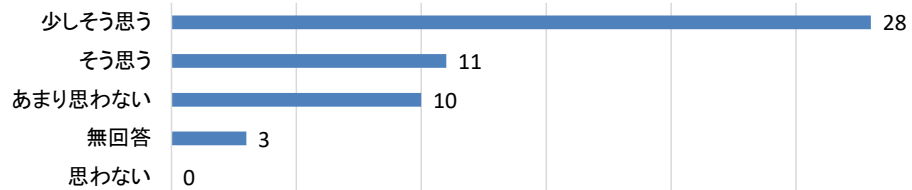
1. 在宅医療について理解している病院医師は増えている



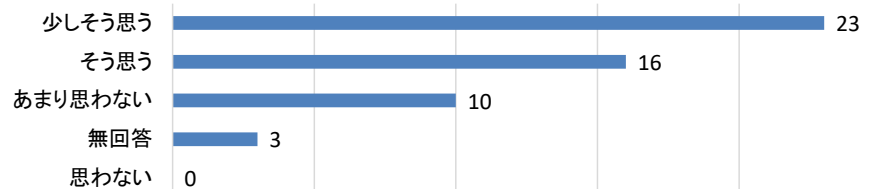
2. 在宅医療へ従事する医師の満足感が高い



3. 在宅医療を受ける患者の満足感が高い



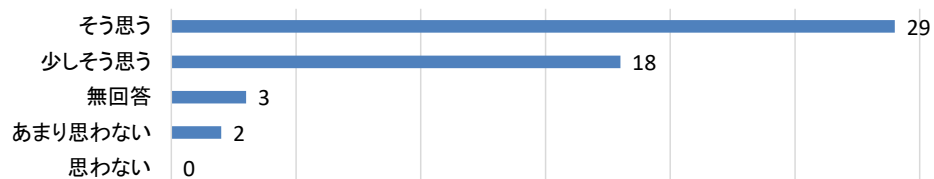
4. 在宅医療を受ける家族の満足感が高い



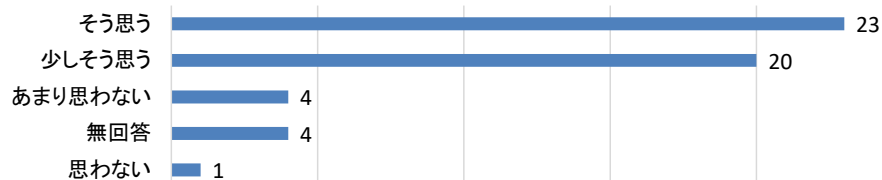
5. 在宅医療を望む患者は増えている



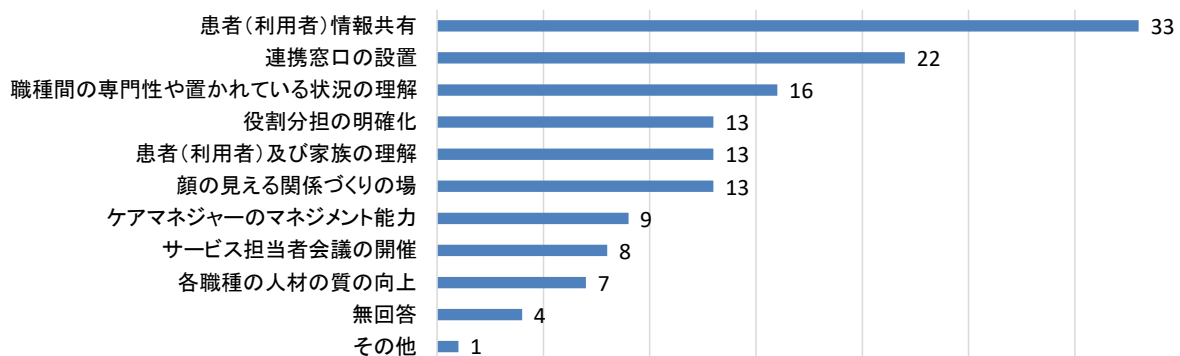
6. 在宅医療をするのには複数の医師で分担する必要がある



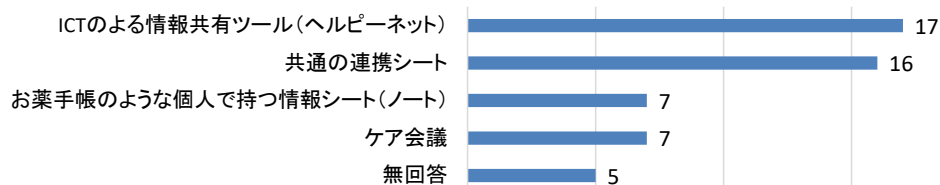
7. 今後在宅医療は推進すべき



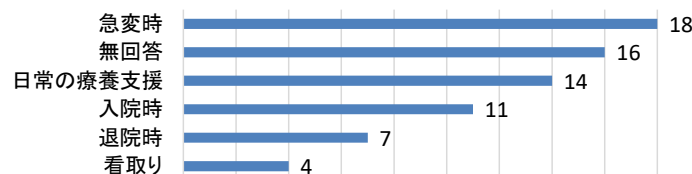
多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか？（上位3つまで）



多職種との連携において、最も有効と思われるツールを一つ選んでください。

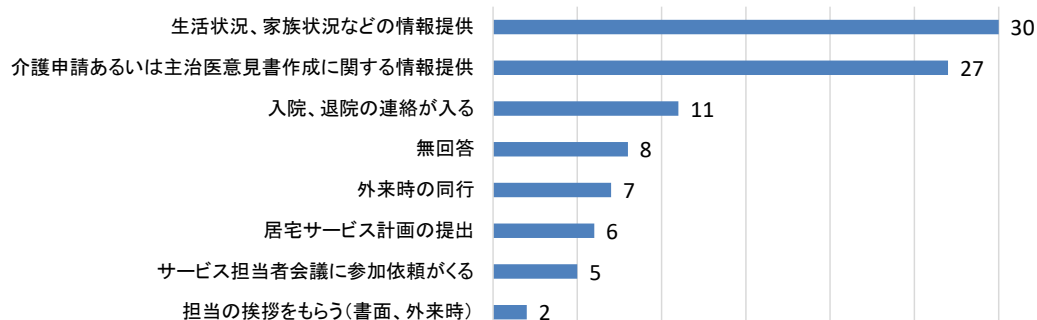


多職種間の連携が特にうまくいっていない場面はどこですか？（複数回答可）

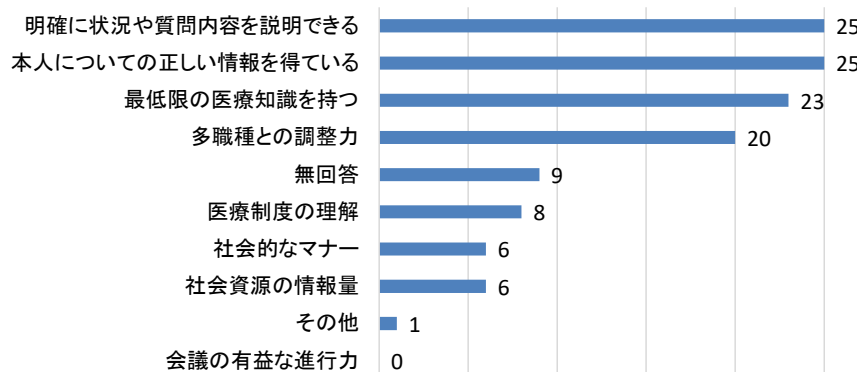


介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携についてお尋ねします。

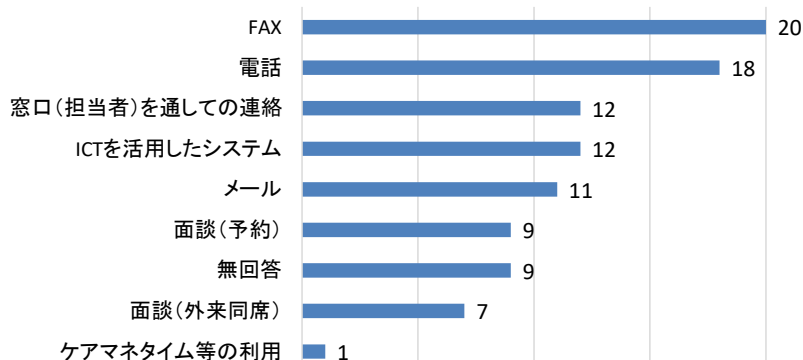
（１）関わりのある介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めることは何ですか？（複数回答可）



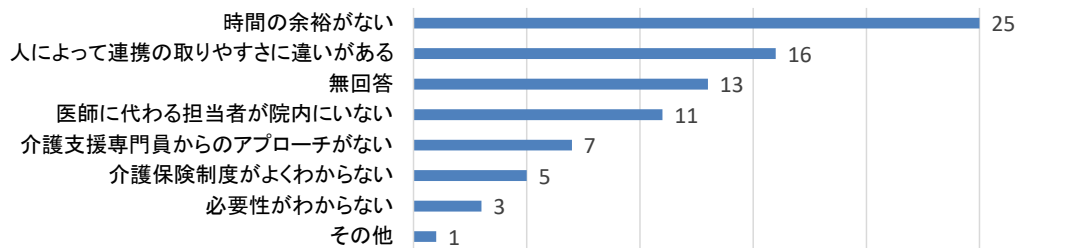
（２）介護支援専門員（ケアマネジャー）に求める力量について（上位３つまで）



（３）介護支援専門員（ケアマネジャー）との希望する連絡方法について（複数回答可）

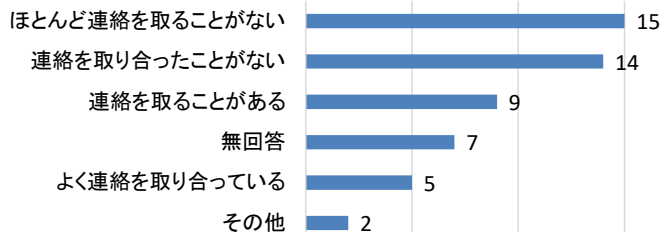


(4) 介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携に支障となっている事は何ですか？（複数回答可）

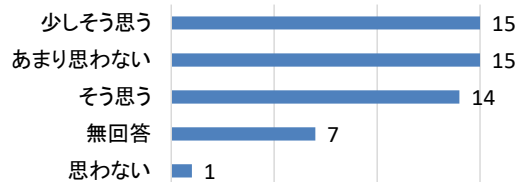


介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）との連携についてお尋ねします。

(1) 介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）と連絡をとりあったことがありますか？一つ選んでください。



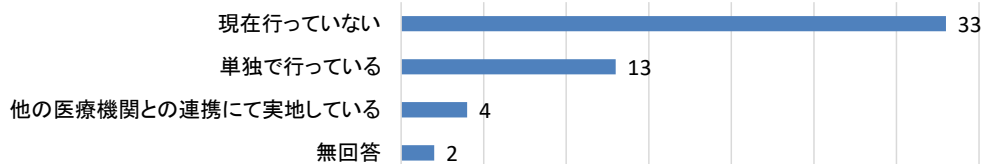
(2) 介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の介護関係者（デイサービスの職員やヘルパー等）とも、直接連携を取る必要性を感じますか？一つ選んでください。



(3) 介護支援専門員（ケアマネジャー）以外の関係者との連携に支障となっていることがあればお書きください。

- ・医師にへだたりをもっているらしい。
- ・個々のヘルパーが困っていること柄を上司のヘルパーがとりまとめ、看護師を介してこちらに相談するうち少しずつニュアンスがかわって伝わってしまう。ヘルパーとナース、医師でポイントがずれてしまったり。
- ・在宅でのメモのやり取りが中心。医療的に間違ったことを伝えてしまうことがある。
- ・患者様と直接的に密に関わっているヘルパーの能力・資質によって医師（或いはケアマネ）への連絡の頻度が異なり、対処が遅れることがある。ヘルパーとの連携。訪問看護も同様。

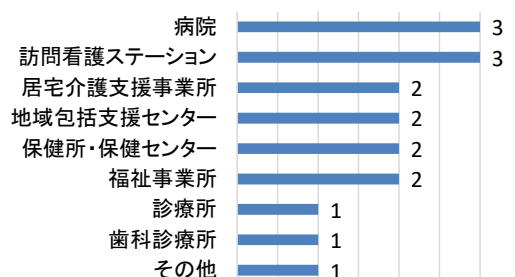
在宅医療（訪問診療）を行っていますか？又は今後取り組む意向はありますか？



多職種との連携で困難を感じる時はありますか？該当するところの口に✓でチェックしてください。

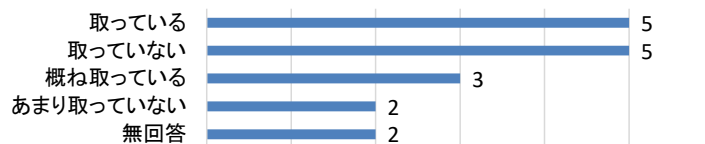


・「はい」と答えた方へ、困難を感じた連携先を教えてください。



在宅での看取りを希望する患者に対する、介護との連携についてお尋ねします。

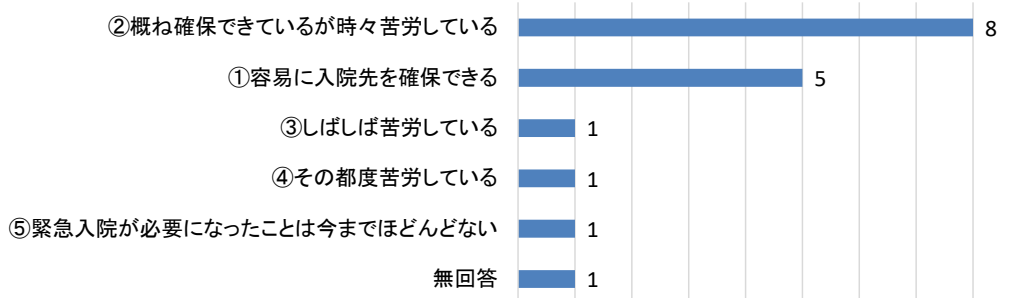
(1) 看取りを希望する患者に対し、介護支援専門員（ケアマネジャー）等、介護との連携を取っていますか？



(2) (1) で「あまり取っていない」「取っていない」の理由は何ですか？

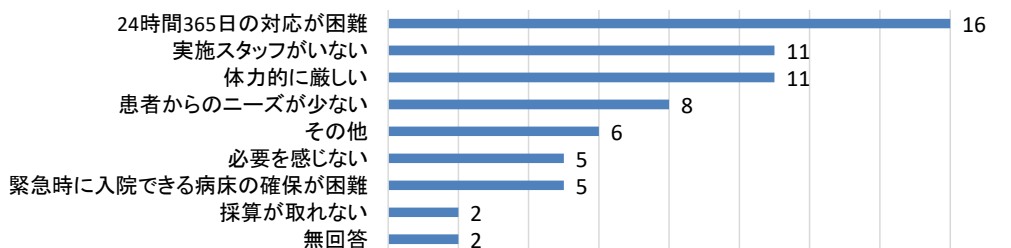
- 施設の方がほとんどで必要性が乏しい
- 該当者がいない
- 概ね医療ではいるので、つつい連絡が遅れる
- 経験なし
- 対象患者がいない
- 老人ホームの場合は職員がいるので、その方と相談している。自宅の時は訪問看護ナースと連携していた。
- 看取りを行っていない

訪問診療や往診で対応中の患者が、緊急入院が必要となった場合の受け入れ先の確保について伺います。該当するところの口に✓でチェックしてください。

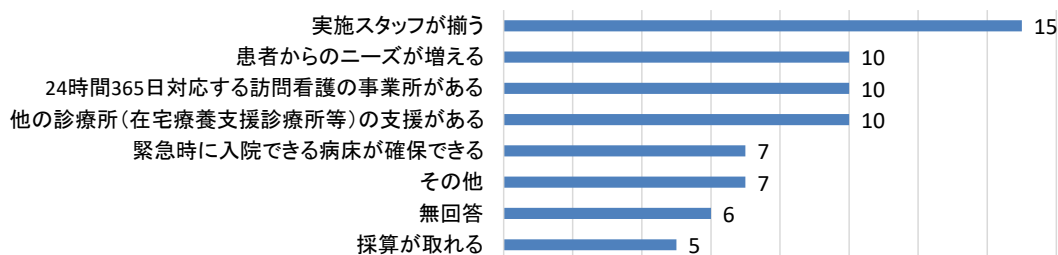


ここからは在宅医療を現在行っていない先生方にお尋ねします。

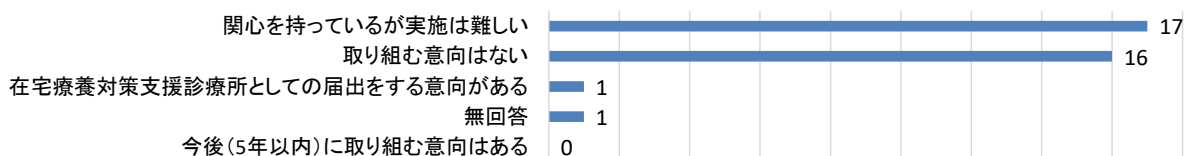
在宅医療を実施していない理由は何ですか？（複数回答可）



在宅医療に取り組むための条件は何ですか？（複数回答可）



今後の在宅医療へのお考えを教えてください。



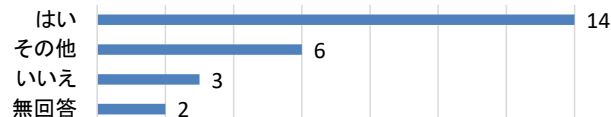
在宅療養の現場見学、導入に対する知識、経験談など学ぶ機会があれば参加されますか？



認知症の診療をしていますか？



「はい」と答えたかたへ、認知症の鑑別診断は行っていますか？



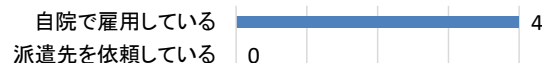
いま在宅医療の現場で食事のアドバイスをを行う管理栄養士が注目されています。管理栄養士についても教えてください。

(1) 外来診療において管理栄養士から患者さんへの指導を行っていますか？

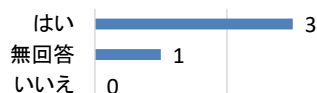


(2) 「はい」とお答えになった方へお聞きします。

◆管理栄養士の雇用について



◆在宅医療の現場に管理栄養士を導入していますか？



最後に本アンケートへのご意見、在宅医療に関するご意見などお書きください

- ・必要性は感じますが、現在日々の診療、書類、クリニックの雑用でこれ以上の事業拡大は体力的、時間的にも困難です。
- ・実際に個人クリニックで在宅をやられている先生の話があれば聴講したいと思う。
- ・職種が多すぎると考えます。
- ・在宅医療は基本は一個人医としての戦いではあるが長期戦になると医療連携は必要となる。
- ・在宅医療は普段の診療時間外に行うので負担が大きい。負担がなるべく少なくできるようなシステムが必要である。
- ・在宅医療をますます発展していくことを願っております。
- ・在宅の重要性は理解できるが時間と人との問題で対応できずにいる。
- ・在宅医療はかかりつけ医が主体となって行われることが望まれます。現状では在宅を専門に行うクリニックや（病院、グループ）による在宅訪問医が多くなってきており本来のかかりつけ医による在宅医療があまり活発には行われていない。医師会は個人の開業医が多く在宅医療の推進に向けて色々取り組んでいくことが望まれます。
- ・タイムリーな情報共有